

伊藤ひろし県議会報告【実績】

高潮や集中豪雨など風水害の減災

（水門整備や河川水位監視体制の強化）

東京湾の奥部に位置する習志野市には、河川が3つあります。この河川を管理するのは、千葉県です。海側の低地部・埋め立て地域を中心に、台風時の高潮、集中豪雨による内水氾濫や河川増水の備えなど、風水害を防ぐ対策は、千葉県にとって重要な防災対策です。



河川水位観測計器
（危機管理型水位計）
菊田川・谷津川に設置

市内3河川①高瀬川②谷津川は、谷津干潟周辺③菊田川は、香澄・秋津・袖ヶ浦周辺を流れています。また、他市を流れている海老川（船橋市）と浜田川（千葉市）の2河川の増水も、習志野市内への浸水が予測されています。

●河川水位観測計器の設置効果

- ・洪水の早期発見
- ・避難判断の支援
- ・水防活動の初動効率化

【お伝えしたいこと】

水門は、来年度にまず高瀬川に整備される予定です。人命と財産を守るためにも、谷津・菊田川に、水門と排水機場の早期整備に向けて取り組みます。

